

「海藻成分の疾病に対する予防・抑制効果」

海藻は太古から食材や藻塩作りに利用されてきました。現在でも種々の海藻は食材として利用されており、近年では低カロリーかつ高食物繊維の健康食品として国内外で注目されています。さらに陸上植物にはない海藻類に特有で、健康に有益な多糖類やポリフェノール系の成分が含まれています。

そこで本年度の企画シンポジウムでは、「海藻成分の疾病に対する予防・抑制効果」をテーマとして、海藻成分が持つ疾病予防への有効性について、最近の研究成果を含めて講演を頂き、論議を深めたく思います。また、皆様にはこのシンポジウムを通じて海藻が健康増進に有益な効果を持つことを知って頂き、これからの応用藻類学分野が果たすべき海藻の利用法としての可能性を探ることを願い企画しました。

プログラム

- | | | |
|-------------|-----|--|
| 14:00～14:05 | S01 | 趣旨説明
：丸山弘子（北里大学） |
| 14:05～14:35 | S02 | 感染症予防に役立つ海藻成分について
：林 京子（中部大学） |
| 14:35～15:05 | S03 | 海藻成分のがん抑制効果をもたらす
血管新生阻止作用について
：芦野 洋美（千葉大学） |
| 15:05～15:35 | S04 | ワカメのⅡ型糖尿病予防効果について
：丸山 弘子（北里大学） |
| 15:35～16:00 | S05 | 総合討論
：丸山 弘子（北里大学） |

開催日：2018年5月12日（土）
一般口頭発表：10:00～12:00
13:00～13:30
ポスター発表：13:30～13:55
企画シンポジウム：14:00～16:00
会 場：東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学品川キャンパス
楽水会館大会議室